

独立行政法人 住宅金融支援機構
理事長 毛利 信二 殿

一般社団法人 プレハブ建築協会
会長 芳井 敬一

令和9年度 住宅関連税制及び予算・制度改正要望

当協会では、本年3月に改定された国の「住生活基本計画」での方向性を受け、次期「住生活向上推進プラン2030」を7月に策定・公表し、様々な目標値を掲げ、

- ① 多様なライフスタイルに対応し、良質な住宅ストック社会の構築の先導役を担うこと
特に、高い水準の環境性能・耐震性能等が確保された住宅ストック形成を牽引すること
- ② 大規模広域自然災害に備えた事前対策を組織横断的に推進すること
- ③ 人材の確保・育成とDXへの取り組みを充実すること
- ④ 国際貢献のため、災害発生・紛争終結後の要請に備え、復興提案の準備を進めること

等を柱に、ストック全体を視野に入れ、あらゆる属性の世帯を対象に、住生活向上に寄与する活動を展開していくこととしております。

そのためにご支援を賜りたく、厳しい住宅市場環境も踏まえ、下記の要望（施策の継続、より効果のある制度拡充、運用改善）を取りまとめましたので、ご検討いただきますよう、よろしくお願いします。

記

「多世代にわたり活用・継承」される良質な住宅ストックの形成と流通の促進

- ① 「フラット35S」および「フラット35子育てプラス」において、戸建分野の長期優良化、GX化、ZEH化を、引き続き牽引して参りますので、支援の継続をお願いします。
（「住生活向上推進プラン2030」での目標 長期優良住宅85%、ZEH水準90%）
あわせて、手続きの更なるデジタル化や、将来の支払い不安を軽減できるよう、利用の増加している、ペアローンにおいて連生団信に加入できるよう運用改善をお願いします。
- ② 新たな住生活基本計画に示された「若年世帯や子育て世帯が希望する住まいを確保できる社会の実現」や、「過度な負担なく希望する住生活を実現できる環境整備」の目標達成に向け、こどもの対象年齢を18歳から22歳へ拡充、および、ローン返済中に子供が増えた場合の金利引き下げ拡充をお願いします。
- ③ リ・バース60により、高齢者が過度な負担なく、また、相続人に安心して引き継げる状況で、リフォームや住み替えを実施していく事が可能となります。今後の適切な維持管理による「住宅循環システム構築」に向け、引き続き支援の継続、および、担保評価割合の更なる改善（長期優良住宅等）をお願いします。
- ④ あわせて、従来の住宅ローンに将来の選択肢を付与した残価設定型住宅ローンに関して、早期の運用開始と多くの金融機関で取扱可能となるよう整備をお願いします。

以 上